

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。 ※ 提出された情報は、海外留学 HP に掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	上海交通大学 (国名:中国)	
留学先学部名(またはプログラム名)	IMBA, Antai College of Economics & Management	
留学期間	2011 年 2 月 ~ 2011 年 7 月	
学部/学府・年次	経済	学部/学府 2 年次~ 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> (期間:)	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?	単位互換可能な科目の受講、留学中に卒業論文のリーサーチなどを行いました。	
進路の予定	①. 就職 (時期: 4月から / ()年 ()月から) 2. 大学院進学 (大学 学府/研究科) 3. その他(具体的に:)	
前項で1と答えの方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)	留学中からインターネットや転職サポートをする人材紹介会社を使用。	
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	はい	
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?	はい	
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	上海交通大学の MBA コースの講座は、1 教科を基本 2 週間で集中的に学び、1 タームで 7 教科程度開講されます。1 教科 2 週間の授業が終わると 1 週間の休みになりますが、その週に最終試験が行われます。 その為、授業は、月曜日から金曜日まで 9:30 から 12:30 まで週 5 日×2 週間の 10 回の講座と講座終了後の翌週の火曜日に最終試験(授業により試験日が前倒しになったりと変更がありました。また、1 教科だけ最終試験ではなく、レポート提出したものが行われます。) 私が受講した科目は、以下の通りです。 - Multinational Strategic Management - International Business Law - International Marketing - Macroeconomics and Public Policy	

	<p>- Corporate Finance</p> <p>授業のスタイルは、科目、担当教授により異なりますが、先生による講義とグループワークによる発表がまざったものが主です。 その為、授業開校日もしくは開講前週に TA(Teaching Assistant)よりグループメンバーが発表され、開校日にグループの課題とグループの発表日が発表され、それに合わせてグループワークを行うこととなります。また、グループでの提出課題なども有り、グループ単位で午後集まるが多かったです。</p>
<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>交通大学のオフィスに日本語が堪能な方がおり、登録作業等丁寧に教えて頂きましたので、履修手続きは簡単なものでした。ですが、学校の在籍の登録などで学生証の発行や寮費の支払等、MBA オフィスではない、交通大学のさまざまなオフィスに行かなければならず、最初の数日は、慌ただしいです。また、寮の管理の方やオフィスの方は、中国語のみしか話さないという方も多く、意思疎通に時間がかかりますが、そういったことに慣れている方なので、手続きができない等ということはありません。</p> <p>MBA オフィスの方は、皆さん英語が堪能なので、履修手続きの変更等はそちらで対応してもらえます。</p> <p>その他、語学に関して、中国語は、MBA オフィスが今期より週1回中国語の講座を開講してくれることになり、受講することが可能です。また、寮のあるキャンパス内に語学スクールがあり、通常は午前午後のコースを受講しなければならないが、特例として、自分に合ったレベルの講座があれば、受講することも可能でした。この講座は、規定の料金の支払いが発生します。また、語学スクールの生徒向けに開講されているサブスクールで、武術、中国画、太極拳、ビジネス中国語、上海語等を受講できます。</p> <p>生活面では、各交換留学生に中国人の学生が一人チュータを担当してついでくれ、生活面等で困っていること等を手伝って頂き、大変助かっています。また、</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>私が受講した教科を担当した先生は、1 名がアメリカ、1 名が韓国、その他は中国出身でしたが、全員が外国や他国での経験があり、また、学生も中国の学生だけでなく、同様に欧米からまた他アジア地域から来ていて、グローバルな環境で学ぶことが可能です。中国人の教授で、中国語を話したり、教材を中国語のものを使用することがあり、わからない部分があったことに対しては残念でしたが、私が留学した学期では、学生の出身国は、中国、韓国、日本、タイ、ブラジル、イタリア、イギリス、フランス、カナダ、ドイツ、ベルギーでした。多くの国からの学生と学ぶことができ、多くの教科は、グループワークがあるので、さまざまな国の人とグループワークがあり、異文化交流もでき、有意義な時間を過ごすことができました。</p>
<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<p>2 週間という短い期間に集中して授業を受けるため、予習・復習に加えて、グループワークもその授業期間の中で行われ、授業開始日にその2日後にグループでの発表があることを知らされ、授業後にすぐグループワークを始めないとならず、午後もあつまる必要が出てきます。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請など)</p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>6ヶ月の短期ビザ(Fビザ)</p>

ビザ申請先	中国駐福岡総領事館
必要書類、手続き方法	<p>パスポート カラー証明写真 1 枚(3×4cm) 留学先の入学通知書の原本およびコピー →留学先の上海交通大学が準備をして、九州大学国際部留学生課へ送付してくれ連絡をくれるので受領する。</p> <p>査証申請表 →領事館ホームページよりダウンロード可能 を準備して、中国駐福岡総領事館へ提出。</p> <p>通常申請は、申請日を含み 4 営業日で受領可能。受領時に料金を支払う。</p>
手続きに要した時間	<p>上海交通大学からの入学許可書受領後、数日で可能。申請は 1 週間。</p> <p>注:上海交通大学へ留学する場合、申請が 2 月ごろになるが、その時期は、中国正月にあたることもあり、総領事館は、中国の休日に合わせ休館になるので、早めに申請を行うのが良いと思います。</p>
その他必要な事前手続き	<p>留学先大学へのアプリケーションの提出後、留学先大学より留学期間中の受講教科の選択についての登録についてのメールが来るので、指示に従い、受講教科の登録を行う必要があります。</p> <p>また、アプリケーション内に寮の必要の有無を記載しているが、予約が完了しているか、到着後の行き先など先方から進捗が送られてくることがないので、自分で事前に確認することをお勧めします。</p>
3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	<p>交通大学は、上海の中心部に位置していて、上海市内の観光地へも同じ地下鉄の線上にあたり、食べ物も学校内の学食や周りにある食事処でローカルフードを食べることもでき、少し日本食が恋しくなれば、10 分程度あるいたところにあるショッピングモールで食事ができるので不便は感じませんでした。</p> <p>上海市内では、タクシーへ乗ったり、観光地では英語で価格の交渉も可能ですが、あまり通じないので、基本的な中国語を学んでおくと生活が更に充実するかと思います。生活レベルの中国語なので、数、どこへ行きたい、いくら？等ができれば、とりあえずすぐく困ることはありません。ただ、寮の管理人や常駐している警備員の方は、まったく英語が通じないので、少しの中国語や筆談、必要であれば中国人クラスメートへお願いするのが良いと思います。</p> <p>地方へ行くとほとんど英語も通じなくなるので、出かける予定があれば、必要になる中国語を覚えていくと役に立ちます。また、筆談でも通じる場合があるので、準備しておくが良いと思います。</p>
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	<p>生活費計 70,000 円/月</p> <p>(生活費内訳)住居費:31,500 円 (75RMB/日)、光熱水料: 住居費に含む、通学費: 徒歩にて通学、食費; 10,000-25,000 円、電話代: 中国国内電話:おおよそ 600 円 + 日本電話の契約を継続、インターネット代: 住居費に含む、書籍代: 教科によって500-1,000 円</p> <p>その他:(具体的に)Corporate Finance の授業では、ファイナンス用の電卓を使用するので、所持していなければ講師から推奨される 3,000 円程度の電卓の購入。</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 特になし 円</p>

	(徴収された費用の名目を具体的に: 光熱費は、無料分があり、それを超えた場合、超過分を月末に支払う必要有)
日本から持参した方がよいもの (PCや変圧器等の要不要も)	<ul style="list-style-type: none"> - 辞書(和英、英和は、紙で印刷されているもの ⇒資料持込可能な最終試験の場合、電子辞書の持ち込みは不可だが、本のタイプの辞書であれば持ち込み可能な為 - 中英日の電子辞書 ⇒日常で使用する為の持ち運び用 - PC+付属品(Lan ケーブル、リカバリ用の CD 等) - 日焼け止め、水筒
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	<p>日常生活について、上海交通大学は、上海の中心部に位置していて、寮に滞在していれば、徒歩圏にデパートやスーパーがあるショッピングセンターがあり、デパートの中には、日本の物が購入できるところもあり、とても便利で、日本の生活と同じような生活を送ることも可能です。タクシーも変な場所へ連れていったりされることもなく、日本とは違う国に滞在している、海外に滞在している外国人であるという認識を忘れず意識していれば、危ない目に合うことはないと思います。ただ、スリはどこにでもいるので注意が必要です。</p> <p>タクシーは、雨が降ったり、地下鉄がなくなるような時間帯に捕まえるのがとても困難です。</p>
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	<p>中国の銀行口座を開設するには、パスポート、学校の入学許可書を持っていけばその場で普通口座の開設が可能です。日本円も学校近辺の銀行であれば、すぐに両替でき、開設した口座へ入金も可能です。</p> <p>日本からのクレジットカードでの買い物等も可能ですが、中国は銀聯カードという国内で流通しているカードがあり、日本の銀行でも作成が可能な銀行があるので、作成してから行くと直接日本の銀行からの引き落としになるので便利かもしれません。</p> <p>日本からのクレジットカードでの現地での外貨引出限度額等、日本にいる時に確認してからいくのが良いと思います。</p>
4. 住居、生活環境	
住居の種類(○印をつける)	(<input checked="" type="radio"/> 寮) ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()
住所/電話番号	Dorm 9, 655 Pan Yu Road, Shanghai Jiao Tong University (Xuhui Campus), China
費用(月額)	およそ月額 31,500 円(75RMB/日)
どのようにして見つけたか	留学先大学から提供される寮の為、留学を希望するアプリケーションフォームに、入居希望であるかの有無の記載項目が有り、そこに記入することで入居が可能。学校ホームページに写真等の掲載があり、事前にチェックすることが可能です。
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	<p>学生寮は、授業がある校舎のあるキャンパスまで 10 分くらいのところにある他キャンパス内にあります。</p> <p>部屋は冷蔵庫、電子レンジ、ウォーターサーバー、テレビの設備があり、広さも十分です。トイレ、シャワー、水場が共用で、あまり清潔に使われないこともあります。また、シャワーのお湯があまり暖かくなならない為、到着当初はまだ肌寒い季節で、とても寒いです。暖かいお湯もですが、調節ができず、夏に向けても大変です。</p> <p>台所もありますが、こちらは校内に、学食もあり、また外にできればすぐ食堂や歩いて 5-10 分程度のところにデパートもあるので、便利です</p> <p>上海市の中心にあるので、買い物や観光、昨年できた地下鉄 10 号線の交通大学駅も</p>

	近く場所は良いところにある為、短い期間であれば寮に住むことは便利だと思います。	
留学生を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	住居については、他の選択肢として、外にあるアパートをシェアすることも可能です。欧米の留学生の多くは、こちらを選んでいてシェアをしていました。普通の部屋に住むことができ、台所もあるので家に住んでいるようで心地よさそうですが、シェアする相手を見つけなければなりません。学校のクラスメート等で探している人がいるはずなので、希望するのであれば、コンタクトしてみるのも良いかと思います。	
5. 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト		
サイト名	URL	コメント
・エクスプロア 上海	http://sh.explore.ne.jp	日本語のサイトで役立つ生活情報が豊富 特に上海の交通について地下鉄の日本語 MAP や空港から市内への行き方など詳細がありとても便利です。
・Ctrip	http://www.ctrip.com	中国国内旅行の飛行機の時刻、金額の検索、予約が可能なサイト。(中国語・英語)中国国内の列車の時刻表もチェック可能(中国語のみ)です。
・	http://www.12306.com	中国語のみだが、中国の列車の時刻表、空席状況がチェック可能です。
6. その他の特記事項		
上海交通大学へ交換留学する場合、留学期間は、2 月末から 7 月となり、冬から夏までの季節を過ごすこととなります。留学当初は、2 月末でも日本に比べると寒くコート等が必要でした。また、部屋もコンクリートの建物の為、とても寒いので暖かいパジャマ等の準備をしていくのが便利です。その後は、徐々に暖かくなりますが、雨季もあります。また、雨季が終わると6月後半から暑くなり、日本の夏と同様ジメジメと暑くなるので、冬から夏までの準備が必要です。		